



## グラウンドワーク三島による「東日本大震災支援活動」 「子どもを元気に富士山プロジェクト」協力へのお願い

NPO法人グラウンドワーク三島理事長 緒明 實

平成23年3月11日に未曾有の大地震が東北地方太平洋沖に発生し、巨大な津波が海岸線の街々を襲い、多くの死亡者や被災者を発生させ、さらには、福島第1原発での放射能漏れへの懸念など、日本の災害史上、類を見ない甚大な被害を及ぼしています。

発災から数週間を経った現在でも、多くの被災者や避難場所には食料や毛布、燃料などが届かず、不明者の捜索もままならないことから、被災者の精神的な負担や不安も増大しているところでもあります。

そこで、「NPO法人グラウンドワーク三島」では、今回、被災児童や被災親子の「心のケア」を重点事業と位置付け、富士山や三島、伊豆の豊かな自然環境のもとで宿泊していただくことで、疲れた心を癒し、元気を取り戻してもらう、「子どもを元気に富士山プロジェクト」に取り組みます。

まず、「支援委員会」を設立して、三島を中心に、伊豆や全国的な市民団体・個人、英国や韓国の市民団体などとの連携のもと、市民・NPO・行政・企業との協働体制を構築して、実効性の高い、「心」の支援活動に着手します。また、「子どもを元気に富士山支援募金」を開設して、被災地からの短期・中期・長期の疎開によって、被災児童や親子に「元気の風・気持ち」を持続的に送ればと考えております。

これらの多様な支援活動を持続的に展開するためには、皆様のご理解による資金的な支援はかせません。また、事業収支と具体的な成果をホームページ上にて報告します。

一人でも多くの子どもたちに元気を与えられればと思います。募金へのご協力をお願いします。

### 1. 富士山・伊豆地域への「被災親子」を対象とした「心を元気にするショートツアー」の実施

2泊3日、1回100人程度 バス2台にて送迎 月2回実施 延べ1万人を招待

### 2. 「心のケア」を兼ねた「被災児童」と「被災親子」の受け入れ

受入期間1カ月、受け入れ人数100人程度、小学生対象、今後半年1年の長期受け入れ検討

### 3. 元気の風を送るための「笑顔の福祉士」と「グラウンドワーク支援隊」の派遣

10人程度、メンタルケアの有資格者にて対応と延べ2000人規模の支援隊の被災地への派遣

### 4. 市民が自ら注水した水や温かい三島そば、富士山ラーメンの提供

ペットボトル1万本と移動屋台車による温かい三島そば・富士山ラーメン1万食などの提供

### 5. 被災者の生活環境の保全を図るための「環境バイオトイレ」を被災地に設置

3基、1日200人の処理能力、杉チップ使用、汚泥・処理水が自己完結、生活環境の改善

### 6. 「東日本大震災 心の絆 支援委員会」の設立

三島や伊豆、国内外の市民団体・個人などと連携した市民・NPO・行政・企業による推進組織

### 「グラウンドワーク三島 東日本大震災 子どもを元気に富士山支援募金」の開設

○三島信用金庫 本店営業部 普通 1192657

口座名 グラウンドワーク三島 東日本大震災支援募金 理事 渡辺豊博

○静岡銀行 中島支店 普通 0605510

口座名 東日本大震災支援募金口 特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 理事 渡辺豊博

事務局 特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島 (担当: 村上、河合、岩崎)

〒411-0857 静岡県三島市芝本町1番43号 電話 055-983-0136 FAX 055-973-0022

E-mail info@gwmishima.jp URL http://www.gwmishima.jp/